

(H29年4月)

もうすぐ桜の季節がやってきます

大地を覆っていた雪が溶けて淡いピンクの花が一斉に咲き、なんだかソワソワしてくるこの季節。

普段は花に興味がなくとも、桜が咲くのは気になる！という方も多いはず。お花見、仲間との宴会、そして出会いと別れ、新生活のスタート…などなど、日本人にとって桜はいろいろな思い出と共にあると感じます。

小学校の校庭にたくさんの桜があったこともあり、私も子供のころから桜はとても身近なものでした。きっと、ずっと昔からこのような風景が続いてきたのだろうと思いついていましたが、どうやらそうではないようです。



【桜の種類って？】

一般的なソメイヨシノと、ヤマザクラや八重桜といった、ざっくりした種類しか知りませんでした。いったい何種類くらいあるのだろうと調べてみると、なんと400種以上ということです。

【じゃあ、ソメイヨシノって何？】

よく耳にする「ソメイヨシノ（染井吉野）」。日本の桜は7～8割はソメイヨシノらしいです。また、日本古来の種ではなく、江戸時代末期に染井村（現在の東京都豊島区駒込）の植木職人が、エドヒガンとオオシマザクラの交配種を売り出したのが初めという説が有力のようです。

全て接ぎ木によって作られたもので、ソメイヨシノはクローンだという情報も。ほぼ一斉に開花するのは、同じ遺伝子を持っているからなのでしょう。

あれ、ソメイヨシノの歴史ってまだ100年ちょっとなのですね…。とはいえ、日本人が桜を愛でるようになったのは平安時代初期とも言われています。目にしてきた花や環境は違えども、春を待ち焦がれる気持ちは昔から同じものなのでしょう。さて、今年の桜は皆様にどんな思い出をもたらしてくれるのでしょうか。



記：K.Oba